

11/29 研究指定校 鳥栖市立若葉小学校 第3回公開授業

令和4年11月29日に鳥栖市立若葉小学校において、県の研究指定「人」台端末を活用した授業改善の授業公開研究会が開催されました。若葉小は本研究指定1年目ですが、今年度3回目の公開授業でした。7クラスにおいて、先進性と提案性のある授業が公開されました。

若葉小学校では、授業のUD化を目指し、【視覚化】【共有化】【焦点化】を意識した授業づくりにICTを組み合わせて研究が進められています。

【研究主題】

主体的・対話的な学習を通して、自分の考えを表現できる子どもの育成

～ユニバーサルデザイン化を目指した国語科の授業づくりとICTのベストミックスを図る～

自分の考えをまとめ、表現する場面



教職員と児童がやりとりする場面

「じどう車ずかんをつくろう」（書く）

1年生 国語科 林さおり 先生

これまでの学習の例文や資料を「Jamboard」を活用して共有化することで、児童一人ひとりが「しごと」にあった「つくり」を選ぶことができていました。

「友だちタイム」では、「Jamboard」に印をつけた箇所を示しながら、読む人に分かりやすく伝えられるよう相手意識をもって学習に取り組む姿が質が高く、素晴らしかったです。

児童同士がやりとりする場面



自分の考えをまとめ、表現する場面



自分の考えをまとめ、表現する場面



児童の作品をwinbirdで提示

自分の考えをまとめ、表現する場面

「リズムをつくろう」

2年生 音楽科 福島愛美 先生

「Jamboard」でリズムを作ることができるシートを作成し、そこに音符や休符をコピー、貼り付けをしながらリズムを作成し、4分の4拍子に親ませる児童の姿が公開されました。

試行錯誤しながら、学級が1つになってリズムづくりを楽しむ姿が印象的でした。

児童同士がやりとりする場面



自分の考えをまとめ、表現する場面

「クリスマス素敵な1日を計画しよう」

6年生 学級活動 中島悠介 先生

事前に議題に対する考えを入力する際に「Jamboard」を、意見をまとめた表や活動のふりかえりなどを整理してまとめる際に「スライド」を活用するなどして、効率的かつ効果的に授業が進められていました。

端末の扱いに慣れた児童の姿に、情報活用能力の高まりを感じました。

生徒同士がやりとりする場面

「大きくなってね わたしのやさい」 2年生 生活科 森田祐介 先生

↑
Jamboardの付せん機能を使って、気づきを共有

「Jamboard」を活用して観察記録をとっていました。付せんの色分け機能を使うことで、観察の視点、野菜に対する思いや願いなどを共有したり、野菜や自分の成長に関する新たな気づきを生み出したりすることができていました。

自分の考えをまとめ、表現する場面

「すごろくを作ろう」 ひまわり7組 自立活動 木原秀徳 先生

教職員と児童がやりとりする場面

「Jamboard」を活用し、付せん機能を使って自分の考えを書き、友達と協働してマスのイベントを作る姿が公開されました。児童一人ひとりが、集中して学習に取り組むことができていました。

自分の考えをまとめ、表現する場面

「面積」 5年生 算数科 小柳浩貴 先生

↑
Dマークコンテンツを活用して、等積変形

東京書籍「Dマークコンテンツ」を活用した授業が公開されました。平行四辺形の面積を図形を変形させながら考えることができていました。「Dマークコンテンツ」の活用により、児童同士や学級全体での協働的な学びにつなげることが容易にできていました。

教職員と児童がやりとりする場面

「形が動く絵が動く」 5年生 図画工作科 尼寺公子 先生

コマ撮りアニメーション制作アプリ「KOMA KOMA」を活用した授業が公開されました。友達と良い点や改善点を話し合ったり、試行錯誤を重ねたりして、よりよい作品作りに積極的に取り組む姿が大変素晴らしかったです。

「協働的な学び」をベースにし、自分の見方（視点）や考え方をいかして学習を進める児童の姿は質が高く、大変素晴らしかったです。若葉小学校では、令和5年度も授業を公開されます。先進的かつ提案性のある授業を参観いただき、実践の一助とさせていただきます。

「SAGA Eコネクト」ではたくさんの事例を紹介しています。

<https://www.saga-high-school.jp/e-connect/>

